

## 令和2年度 1学期始業式

鹿児島県立鶴翔高校

先ほど新任式を終えた12名の職員を加え、67名の職員と、181名の2・3年生の生徒のみなさんと共に令和2年度の始業式を迎えることができ大変うれしく思います。

ところで、昨年度のこの始業式で新元号である令和についてお話をしました。日本ではじめて中国の経典からではなく、国書からと決まったこと、そして令和の意味について説明し、おだやかでよい時代になってほしいとの願いがこめられているよと話をしました。ところが、令和元年11月中国から始まったコロナウイルス感染症がパンデミックと言われるように全世界にもものすごい勢いで広がり、大変な方々が亡くなられています。ウイルスは確実に私たちのすぐ側まで来ていることは、まちがいありません。みなさんにはお願いです。1人1人ができることを確実に行ってください。手洗い・うがいを1日何回もしっかりやってください。教室の換気もみんなで気をつけてしっかりとおこなうこと。マスクも必ず着用すること。部室等狭い部屋に多数で、入らないし、長時間にわたって話し込んだりしないこと、不要不急な集まりなどには、いかないようにすることなどが大切になります。

そして、もしも不幸にも自分が、熱発が続いたり、咳が出たり、嗅覚や味覚に以上を感じた時には、すぐに病院や保健所に相談して検査をしてもらってください。その場合は、出席停止扱いで病院・自宅もしくは療養になります。絶対に、他の生徒に感染させないように配慮してください。また、この病気は報道でも示されているように誰がいつ感染してもおかしくない病気ですので、もし友達に感染者が出た場合も、差別的な言動は絶対にしないように心がけてください。よろしく申し上げます。みんなで、知恵を出し合い、心を1つにして、新型コロナウイルスとの闘いに臨んでいきましょう！

さて、3月は卒業式にも出席できず、先輩らが卒業して、大変寂しい思いをしましたが、今彼らも、このような状況のもと不安と希望の中、それぞれ入学式や入社式に臨んでいる頃だと思えます。

私たちが生きるこの現在の世界は、今回のコロナウィルス感染のような世界的な病気や大津波のような大規模な災害等がいつ発生してもおかしくない状況で、しかもソサイアティ 5.0 で表現されるように AI などの進化により社会や産業も大きく変わってしまう世の中が来ようとしています。

さて、みなさんは、どう生きていきますか。平和で安全で、何の心配のない世の中ではなく、激変する世の中で力強く生き抜いていく力が必要とされています。

具体的には、自分から世の中の情報を積極的に入れ、自分の頭で深く考え、他人と協力して、活動して、自分の夢の実現に向けて、課題を解決して力を見つつけることが必要ではないかと思えます。特に教科「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」などで通して深い学びをしてください。

さて、終業式でもお願いしましたが、2年生は、中堅学年として、充実の年にしてほしい。学習・部活動を始め、あらゆる面において、鶴翔高等学校の中核として活動し、力を発揮してください。学業の基礎・方法を学んできたあなた方にとって、今年1年の頑張りが、進路希望を夢から現実へと引き寄せる力となります。インタハイ予選、体育大会、飛翔祭、インターシップ、修学旅行と、大きな行事が控えています。みなさん一人ひとりがそれぞれの課題を正面から見据え、乗り越えて欲しい。そうすることが自分に自信を、そして地域にも元気をもたらします。頑張りましょう。

3年生は、学習・部活動とも、仕上げの1年になります。夢は見続けて、きっと叶えるもの、ひとり一人の学業への取り組みで、サクラを咲かせるよう、精一杯励んでほしいと思えます。

皆さんにとって、今年、いうまでもなく、進路決定の年で

す。就職希望者はあと5ヶ月、推薦入試で進学する人でも6か月後には願書を提出することになります。また、国公立大学を希望する人は、10月上旬のセンター試験出願に始まって、3月までの長丁場になります。進学であれ就職であれ、与えられた時間はもうわずか。合格通知をつかみ、その手で、未来を切り開いてほしいと思います。

結びに、明日は、入学式です。89名の新入生が鶴翔高等学校の門をくぐります。これまでとはまた違う新たな気持ちで学校生活を送ってほしい。

1年生は先輩であるあなた方の振る舞いを見て、どう行動するべきかを考えます。あなた方には、彼らを、自信を持って鶴翔校生として正しい道へ導いてほしい。そうすることで皆さんも飛躍的に人として成長しますので、よろしくお祈りします。令和2年をいい年にしましょう！

以上をもって式辞とします。

令和2年4月6日 鶴翔高等学校 校長 前田良文